



経済分析研究

経営情報学部 経営学科

教授 片桐昭司（かたぎりしょうじ）



連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1728研究室
Tel 082-251-9753 Fax 使用不可
E-mail katagiri@pu-hirosima.ac.jp

専門分野： 経済成長論、開発経済学、経済政策

キーワード： 内生的経済成長、イノベーション、R&D、
南北問題、所得格差、産業連関、

●研究内容

経済理論を基に、以下のような研究（経済分析）を行っています。

（1）最新の経済成長理論（内生的経済成長モデル）を用いて、研究開発活動が経済や環境に及ぼす影響、それに付随する産業政策の提言および実証分析を行っています。具体的には、研究開発部門で創出されるアイデア（具体的には特許）が経済成長率にどのように関係し、さらに経済成長率を高めるために、産業政策として研究開発部門にどのような政策を施せばよいのかなどを研究しています。

（2）グローバルな視点として、発展途上国と先進国との関係を、人的資本格差、技術格差・所得格差の観点から、理論的および実証的分析を行っています。たとえば、人的資源の賦存を反映する熟練の格差がどの程度経済格差を引き起こすのかを分析し、格差是正のための方策を研究しています。

（3）公共経済の観点から、環境問題や産業連関を分析しています。環境問題に関しては、環境保全活動をどのように支援していくのかを考察し、また、現在、研究段階にある産業連関分析に関しては、より密接な分析のため、ミクロレベルでの最終財の経済波及効果を研究しています。

●期待される成果と応用

（1）従来のモデルが対応できない経済分析を行うため

に、新たな経済モデルを構築することになり、このモデル化は新時代（例えばITやR&Dなど）に対応できるものとなります。この新しいモデルを用いることによって、新たな視点から経済が分析できることになり、さらに、コンピューターを用いて実証分析および種々のシミュレーションが可能となります。これによって、マクロ的な観点（日本全体）からミクロ的観点（地方レベル）までの政策提言が可能となり、従来のモデルでは対応できない汎用性の高いモデルとその実践的な使用ができることとなります。

（2）先進国と発展途上国との経済格差を分析することにより、わたしたちが、発展途上国とどのように接したらよいのか、あるいはどのような支援を行えばよいのかが解明され、経済政策（特にODA—政府開発援助）のあり方を探求できるようになります。

（3）内生的経済成長モデルのもとで種々の環境問題を扱いことができ、公共活動の立場から、環境保全活動等に対して、政府や地方自治体がどのように取り組めばよいのか（環境保全活動を補助するための助成金の関係）が明らかにされます。また、現在、研究段階である細分化された産業連関表を用いて、詳細な産業の特徴・特性が分析でき、産業戦略・政策の提言などが可能となります。

●想定される連携先

- ・ 経済研究所
- ・ 官公庁
- ・ 経済産業団体



Research for Economic Analysis

Faculty of Management and Information Systems
Department of Management
Professor : Shoji Katagiri



Prefectural University of Hiroshima
Office : Hiroshima campus 1728
Tel 082-251-9753 Fax Not available
E-mail katagiri@pu-hiroshima.ac.jp
URL <http://www.pu-hiroshima.ac.jp>

Research Fields : Economic Growth Theory,,
Development Economics, Economic Policy

Keywords : Endogenous Economic Growth, Innovation, R&D,
South-North Problem, Income Inequality,
Input-Output Studies

● Research Topics

Based on the economic theory, the following researches
(Economic analysis) are performed.

(1) Endogenous Growth Theory :

Using the latest growth theory (endogenous growth model), how research and development (R&D) influences the economy and environment are analyzed, and from the results of the model analysis, the implications about industrial policies are suggested and empirical analysis are performed

(2) Economic Development :

As the global point of view, the relationship between developing and developed countries is theoretically and empirically analyzed in terms of differentials of human capital, technology and income.

(3) Environmental Problem and Input-Output Analysis :

As the public economic point of view, environmental problems and input-output relations are analyzed. Especially, input-output analysis is now researching for subdivided industrial field.

● Expected Results and Application

- (1) Suggestions for economic policy based on the new model which will be fitted for new age (IT and R&D etc.), and modeling fitted for economic environment.
- (2) Suggestions for economic policy in development economics, such as how to use ODA, how to support the developing countries economically.
- (3) Suggestions for environmental problem and industrial policy from subdivided input-output analysis

● Potential Partners

- Economic research institute
- Public office (municipal, prefectural and governmental office)
- Economic and industrial federations